

償却資産申告書等の記入例

1. 償却資産申告書（償却資産課税台帳） 第26号様式

下記の例を参考に、各項目の内容を記入してください。印字された内容に変更がある場合は黒線で抹消し、正しい内容を記入してください。

住所・氏名・電話番号・屋号（ある場合）を記入してください。

前年中に減少した資産の取得価額を記入してください。また、前年中に新たに取得した資産の取得価額を記入してください。

該当する場合は○で囲んでください。
※廃業の場合は資産の売却先を種類別明細書の摘要欄に記入してください。

令和 年 月 日 北海道士別市長 渡辺 英次 様		令和 年度 償 却 資 産 申 告 書		農事組合コード	住所コード
(フリガナ) 1 住所 北海道士別市東6条4丁目		3 個人番号又は法人番号		5059305	※所有者コード
(フリガナ) 2 氏名 シベツシヤクシヨカブシキカイシャ 士別市役所株式会社		4 事業種目 (資本等の金額) 製造業 (100 百万円)		8 短期耐用年数の承認	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
(フリガナ) 氏名 代表 渡辺 英次 様分		5 事業開始年月 昭和 60 年 3 月		9 増加償却の届出	有 ・ <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
(フリガナ) 住所 北海道士別市東6条4丁目		6 この申告に回答する者の係及び氏名 経理課 士別太郎 (23 局 3121 番)		10 非課税該当資産	有 ・ <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
(フリガナ) 住所 北海道士別市東6条4丁目		7 税理士等の氏名 税理士 士別次郎 (23 局 **** 番)		11 課税標準の特例	有 ・ <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
(フリガナ) 住所 北海道士別市東6条4丁目		15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地		12 特別償却又は圧縮記載	有 ・ <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
(フリガナ) 住所 北海道士別市東6条4丁目		16 借用資産 貸主の名称等		13 税務会計上の償却方法	定率法 <input checked="" type="radio"/> 定額法 <input type="radio"/>
(フリガナ) 住所 北海道士別市東6条4丁目		17 事業所用家屋の所有区分		14 青色申告	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
(フリガナ) 住所 北海道士別市東6条4丁目		18 備考(添付書類等)			
(フリガナ) 住所 北海道士別市東6条4丁目		19 他の共有者氏名			
(フリガナ) 住所 北海道士別市東6条4丁目		20		1. 昨年中の資産の増加、減少なし 2. 廃業、解散、転出等 (年 月) 3. 営業しているが、該当資産なし	

資産の種類	取 得 価 額				計 (イ) - (ロ) + (ハ)
	前年前に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの (ロ)	前年中に取得したもの (ハ)	計 (イ) - (ロ) + (ハ) (ニ)	
1 構 築 物	十億:百万:千:円 6,000,000			6,000,000	
2 機 械 及 び 装 置	2,000,000		8,500,000	10,500,000	
3 船 船					
4 航 空 機					
5 車 両 及 び 運 搬 具					
6 工 具 及 び 備 品	500,000	200,000		300,000	
7 合 計	8,500,000	200,000	8,500,000	16,800,000	

資産の種類	評 価 額 (ホ)	決 定 価 額 (ヘ)	課 税 標 準 額 (ト)
1 構 築 物			
2 機 械 及 び 装 置			
3 船 船			
4 航 空 機			
5 車 両 及 び 運 搬 具			
6 工 具 及 び 備 品			
7 合 計			

個人番号・法人番号を記入してください。

事業の内容・開始年月日を記入してください。

問い合わせ先となる方の係名・氏名・電話番号を記入してください。税理士が関与している場合は、税理士の氏名・電話番号も記入してください。

該当の有無を○で囲んでください。

士別市内における事業所等の所在地を記入してください。

有無を○で囲み、有の場合は名称・住所等を記入してください。

該当する方を○で囲んでください。

共有資産の場合は、所有者全員の氏名と持ち分を記入してください。

2. 種類別明細書 第26号様式別表第1

種類別明細書には昨年度の申告内容を印字しています。

令和5年1月2日から令和6年1月1日までに取得した資産（増加資産）、売却または除却、移動した資産（減少資産）について、例を参考に記入してください。

初めて申告される方は、令和6年1月1日現在所有している全ての資産を記入してください。

耐用年数

「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」に掲げる耐用年数を記入してください。

中古資産については、見積耐用年数を適用している場合はその耐用年数を、国税局長の承認を得て短縮耐用年数を適用している場合はその耐用年数を記入してください。

【減少資産】（売却・除却・移動など）

資産の全部が減少した資産に抹消線を引いてください。

資産の一部が減少した場合は、印字されている数量・所得価額に抹消線を引き、余白に減少後の数量・取得価額を記入してください。

摘要欄に、減少の事由（売却・除却・移動など）と、売却先・移動先を記入してください。

【増加資産】（新規取得、申告もれなど）

＜資産種別＞

該当する資産の種類を記入してください。

1. 構築物
2. 機械及び装置
3. 船舶
4. 航空機
5. 車両及び運搬具
6. 工具、器具及び備品

＜資産の名称等＞

資産の名称・規格・型式・能力寸法をできるだけ詳しく記入してください。

軽自動車に該当する場合は、ナンバーも記入してください。

＜数量＞

資産の数量を記入してください。

＜取得年月＞

資産を取得した年月を記入してください。ただし、1月1日に取得した場合は、前年の12月を取得年月としてください。

＜取得価額＞

資産を取得するために支出した金額（付帯費用を含む）を記入してください。

※圧縮記帳は、固定資産税の評価上認められていません。

※事業専有割合による取得価額のおん分は認められていません。

※資産を無償で譲り受けた場合など、取得価額が不明なものについては、取得価額を見積もって記入してください。

増加事由

資産を取得した事由について、該当する番号を○で囲ってください。

1. 新品取得
2. 中古品取得
3. 移動による受け入れ
4. その他

令和 年度											所有者氏名			北海道士別市			
所有者コード		095-0016		北海道士別市東6条4丁目		シベツシヤクシヨカブシキカイシヤ			1枚のうち								
5059305						士別市役所株式会社			1枚目								
No.	資産種別	資産番号	資産の名称等	数量	取得年月			取得金額	耐用年数	減価残存率	決定価格	特例率			課税標準額	増加事由	摘要
					年号	年	月					分子	分母	コード			
1	1	1	舗装工事	1	平	27	2	1,000,000	10	0.794	449,007				449,007	1・2	6,284
2	1	2	看板	1	平	27	5	5,000,000	10	0.794	2,245,000				2,245,000	3・4	31,431
3			*種別1小計*					6,000,000			2,694,045				2,694,045	1・2	37,717
4	2	1	暖房設備	1	平	28	6	2,000,000	8	0.750	984,375				984,375	1・2	13,781
5			*種別2小計*					2,000,000			984,375				984,375	3・4	13,781
6	6	1	デスク	3	平	28	12	300,000	5		162,250				162,250	1・2	2,272
7			*種別6小計*					50,000			162,250				162,250	3・4	2,272
8																1・2	
9	2		タイヤショベル(コマツKT321)	1	令	1	5	8,500,000	5							3・4	
19																1・2	
20																3・4	
*** 貢 計 ***								8,500,000			3,840,670			3,840,670			
*** 合 計 ***								8,500,000			3,840,670			3,840,670			

注意：増加資産がある場合、「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受け入れ、4 その他 のいずれかに○印を付けて下さい。

税務課で記載しますので記載は不要です。